

10

vol.551
October 2020

昭和63年1月18日
第三種郵便物認可
10月号/令和2年10月1日発行

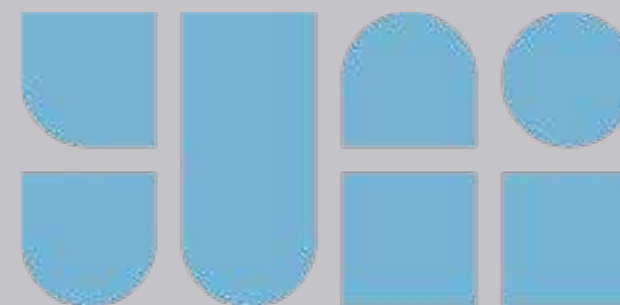
特集
ギャラリー
りゅうあい



室蘭市

Suda Kiyoshi 須田 圭

以前に見た室蘭市街を思い出
し書き上げました。



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



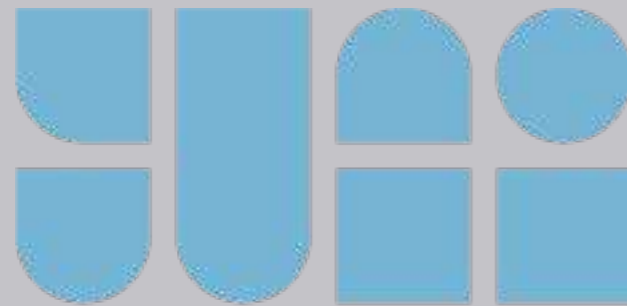
あなたがいて、わたし、がある。

発行日 偶数月1日
価格 1部160円
発行者 大場公孝
発行所 社会福祉法人侑愛会
北海道北斗市追分7丁目8番9号



<https://www.yuai.jp/>

社会福祉法人侑愛会



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp

新生園 折目泰則
「施設長に就任して」



還暦を迎えて施設長に就任するとは思っておらず、新しいことに挑戦しようとか、創造的な施設運営を行うという思考に持っていきのは難しいというのが正直なところ。個人的にも物を集めるのが趣味で、いろいろな物が家にあふれていて、ようやく「断捨離」を実行しようと思立ち、手を付け始めたところでもありました。施設長として、これからの施設はどうあるべきか考えるのですが、どうしても昔はこうだったという思いが頭から離れません。

昭和58年4月、おしま学園に勤務した頃のゆうあいの郷には、まだ当別事務所や給食センターがあり、牛舎には乳牛がいました。当時は行事が多く、運動会やコロニー祭以外にも毎月のように何かしらのイベントがあり、他施設の職員とも顔馴染みになっていて施設間の結びつきも強かったと思います。利用する方々も職員も元気でエネルギーでした。星が丘寮開設時に異動となり、自閉症の方々の支援を行いました。TEACCHプログラムによる支援は始まったばかりでした。新生園に異動となり現在に至るわけですが、海外旅行などいろいろなイベントもあり、始めの10年くらいは非常に密度の濃い時間を過ごしてきたと思います。私なりに求められたことは遂行してきたという自負はありますが、管理職となり人材育成の役割を担いながら十分に責務を果たせませんでした。

学生時代いくつかの施設にボランティアとして通い、養護学校教諭の資格も取りましたが、糸賀一雄先生の著作「この子らを世の光に」に感銘を受け、24時間365日生活する入所施設に勤めることを志望しました。おしま学園勤務の時に空いた居室に住み込み、中途半端な面はありましたが、それでも子供たちと共に生活しているという実感はありました。とにかく子供たちと過ごす時間が楽しく充実した日々でした。出勤して寮に近づく廊下に出てきて出迎えてくれる子がいて、「折目先生の足音が分かるんだよ、慕われているね」との同僚の言葉は涙が出るほど嬉しかったです。

虐待防止と権利擁護、高齢化や健康管理、自閉症の方々への支援等課題は多く、現在は新型コロナウイルス対策を継続中で、利用する方や職員が感染した場合の対応は、大規模災害時の対応同様に、事業継続計画(BCP)の作成が必要です。これらの課題はすでに法人として取り組まれています。利用する方々の課題を理解し支援するには人材育成が必要です。

大場茂俊前理事長の生涯が記された著書「シリーズ福祉に生きる63」が職員に贈られています。地域交流ホーム「夢」の前に、「この子らを世の光に」の碑があるのですが、著書にも記述があるこの碑の存在を知っている人はどのくらいいるのでしょうか。おしま学園前には、先代理事長の碑があります。侑愛会の理念をしっかり胸に抱き職務に励んでいるのでしょうか。入職当時の私は、子供たちと共に成長することでより良い支援を実践できると、休む間もなく様々なことに挑戦しました。しかし今は、自己研鑽は当たり前という考えは通用しません。課長職の時に、「安全管理マニュアル」「生活支援マニュアル」を作成し周知を試みましたが、伝えきれなかったという思いがあります。

法人としても、「人事考課」「人材育成」制度を構築し実践してきましたが、これらは「キャリアパス」として再構築され移行予定となっています。人材育成のシステムは必要で現状に合った方法を構築していかなくてはなりません。やはり法人理念をどう伝えていくかが重要です。「勤務モットー」の唱和や、先代理事長の本を読むよう促すだけでは伝わらないのかもしれないかもしれません。マニュアルも読んだだけで身につくものではありません。仕事にモチベーションは必要です。利用する方とふれあい、つながりを感じる。課題に取り組み達成感を体得する等、実際に仕事の成果を実感できるよう支援していかなければならないと思います。施設長として、法人理念を伝えていく使命があり、やり残したこの課題に取り組まなければなりません。





和紙風船でどこまでも

河井 優子 Kawai Yuko
高橋 恵美 Takahashi Emi
竹田 悦子 Takeda Etsuko
竹田 殖広 Takeda Fuyuhiro

ゴンドラに乗り、和紙の風船でどこまでも。高く高く、風に流されゆっくり漂うように、

夏野菜

高橋 淳
Takahashi Jun

絵を描いたり色を塗るのが好きな高橋さん。今回は「夏野菜」をテーマに、モデルとなる野菜の写真を模写した後、色を塗られました。



ブレスレット

沢田 妃呂 Sawada Hiro

ipodを使用し、手順を確認しながら製作しています。ケースにセットされている飾りを1つずつ糸に結び、ブレスレット完成。



貼り絵

米谷 一彦
Yoneya Kazuhiko

折り紙を小さく四角く千切ることが大好きです。いろんな色の折り紙を集めて、絵に合わせて張っていく事が楽しいです。ハートと星は仕上げに貼っています。



編み物

品田 ミヤ Sinada Miya

季節に合わせて毛糸の太さや色合いを組み替えながら編んでいます。セーターは春になると袖を取って袖なしに作り替え、ヘアバンドも色合いに合わせて作っています。



白銀の大魔王

水島 克人 Mizushima Katsuhito

大魔王シリーズ第2弾。冬をイメージして作りました。厳しい冬を乗り越えて行く大魔王の姿が凛々しいです。



あじさい

工藤 真知子 Kudo Machiko

花びらのホワイトスペースが印象的で、不思議な雰囲気。様々な色が点々…。見入ってしまいます。是非ご覧ください。



森とおひな様

十文字 真喜子 Jyumonji Makiko

たくさんある作品の中から1つを紹介！様々な色の折り紙を切ったり、丁寧に折って1つの作品を完成させました。



貼り絵(ダリア)

小松 明子 Komatsu Akiko

下絵を描いた後、のりを付けていき、折り紙を当てて釘で少しずつ貼っていています。色にもこだわって作成しています。

花火

山村 洋一
Yamamura Yoichi

夜空に花開く美しい光と音。作品からは力強さと色鉛筆のブラックが闇を照らし鮮やかな光が大きな花を咲かせています。



葉のプレゼント

尾崎 剛太 Ozaki Gota

大好きなお花を葉にして大好きなみんなにプレゼントしたよ！みんなの「ありがとう」の笑顔とっても嬉しかったな。

お菓子の森

本間 佳代子 Honma Kayoko
阿部 昭彦 Abe Akihiko
村木 伸一郎 Muraki Shinichiro
村田 健二 Murata Kenji
能登 寿 Noto Hisasi

こんな森があればいいなと誰かが一言。甘い木々や小さな家、本当に食べられたらいいなあと言ってしまふ作品です。



あみあみ牛乳パックペンたて

和賀 妙子 Waga Taeko

牛乳パックを使ってカラフルなペンたてを作りました。ポイントは色のグラデーションです。

無題

大森 初枝
Omori Hatsue

その日、その時の気分に合った色を手に取り書きました。同じものは一つもない、大切な作品です。

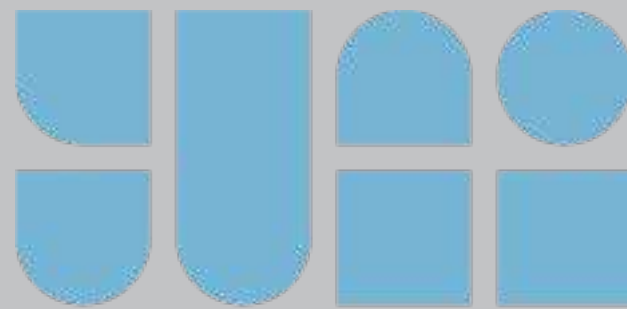


Aパンダとミサンガ

K・Aさん

私のマイブームはミサンガづくりとマスコットづくりです。フェルトを使い、大好きなAAAのキャラクター「Aパンダ」を作りました。





社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp